

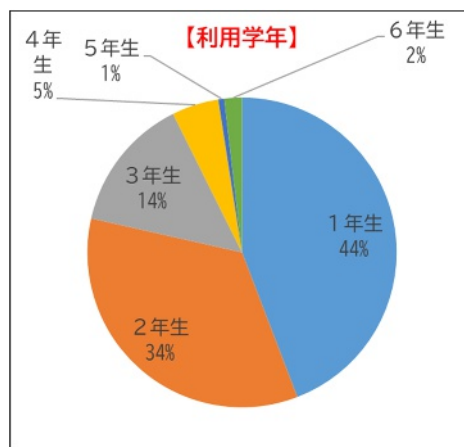
令和6年度（第3回） 放課後子ども居場所事業利用者アンケート 結果報告

1. アンケート概要

- 対象者：モデル事業を実施している「栄小学校」「鈴谷小学校」「岸町小学校」「新和小学校」の放課後子ども居場所事業を利用している保護者様とお子様
- 回答期間：令和6年10月28日（月）～令和6年11月13日（水）
- 回答件数：163件
- 回答率：40.0%（令和6年11月1日時点の登録児童数を基に算出）

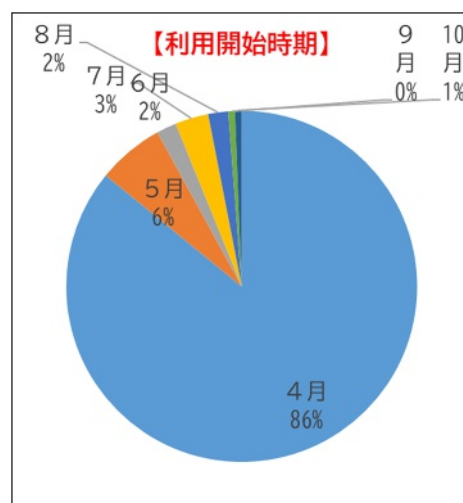
2. アンケート結果

利用状況



●利用学年は1～3年生が全体の92%を占める結果となった。

利用開始時期



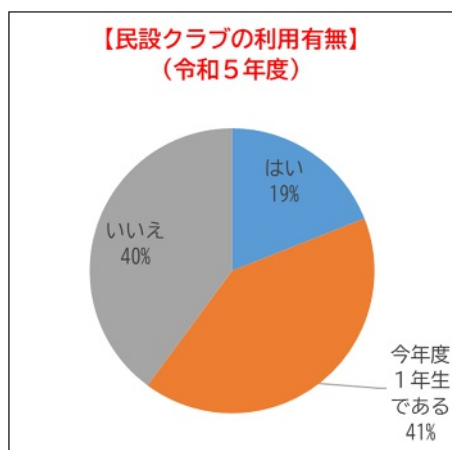
●利用開始時期は全体の86%が「4月」の結果となった。

●5月以降に利用を開始した理由

- ・本人が入ってみても良いと言ったため。
- ・入学後、学校に慣れるまでは様子をみたかったため。
- ・4月は様子をみていた。

- ・ 出社日が多かったため。
- ・ 説明会に参加してしばらく考えてから申し込みをしたため。何月からでも入所できる仕組みでよかった。
- ・ 下校班にも慣れさせるため。
- ・ 子供が行きたいと言ったため。
- ・ 子どもが学校に慣れて、学童大丈夫と言ってくれたから。
- ・ 親が就活を始めたため。
- ・ 引っ越しして、転入したため。
- ・ 受付の締切を間違えてしまって遅れてしまったため。
- ・ 母の転職により、どうしても必要だったため。
- ・ 当初は民間学童にいていたため。
- ・ 仕事を変えて、お迎えに間に合わなくなったため。

放課後子ども居場所事業を選択した理由

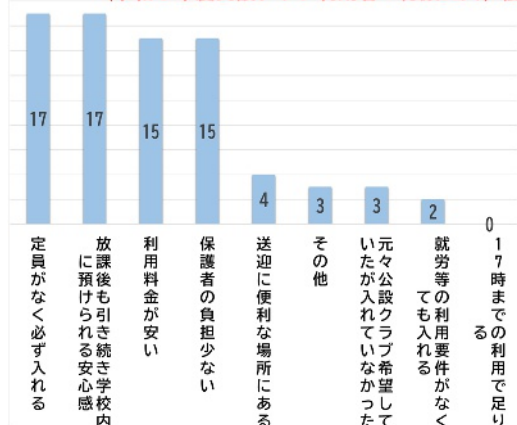


●令和5年度民設放課後児童クラブの利用有無については「今年度1年生」が41%で最も高く、「利用なし」(40%)、「利用あり」(19%)が続いた。

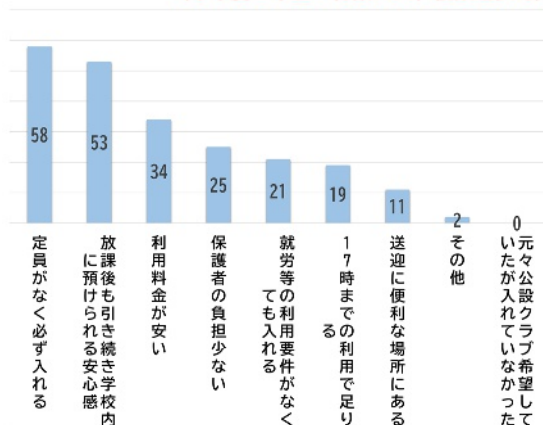
はい

1年生

【居場所事業を選択した理由】
(令和5年度民設クラブ利用者：総数31人、複数選択可)

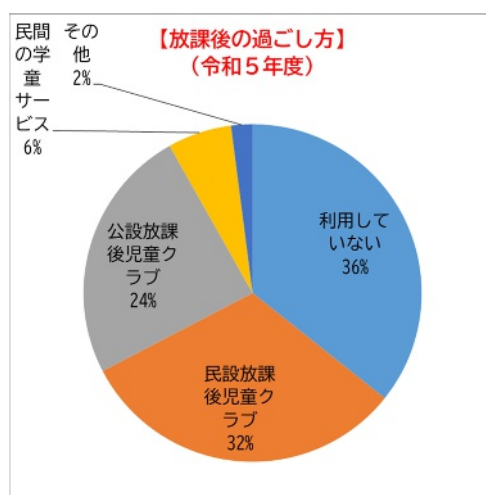


【居場所事業を選択した理由】
(今年度1年生：総数67人、複数選択可)



- 令和5年度は民設放課後児童クラブを利用していたが今年度からは放課後子ども居場所事業を選択した理由としては、「定員がなく必ず入れる」「放課後も引き続き学校内に預けられる安心感」が最も高く、「利用料金が安い」、「保護者の負担が少ない」、「送迎に便利な場所にある」が続いた。
- その他の理由としては「仕事をしているため」「通常の学童は正社員でも学年が上がると入れないため」等が寄せられた。
- 今年度1年生の方が放課後子ども居場所事業を選択した理由としては、「定員がなく必ず入れる」が最も高く、「放課後も引き続き学校内に預けられる安心感」、「利用料金が安い」、「保護者の負担が少ない」が続いた。
- その他の理由としては「引っ越し前の自治体で放課後子ども教室を利用していたため」等が寄せられた。

令和5年度の放課後の過ごし方



- 令和5年度の放課後の過ごし方は、「利用していない」が36%で最も高く、「民設放課後児童クラブ」(32%)、「公設放課後児童クラブ」(24%)、「民間の学童サービス」(6%)、「その他」(2%)が続いた。
- その他の過ごし方としては「放課後子ども教室」等が寄せられた。